

商工
観光課

帝釈峡の100年先を見据えて 名勝・国定公園帝釈峡記念事業実行委員会設立



設立総会の様子

令和5年に国の名勝指定100年、国定公園指定60年を迎える「帝釈峡」の美しい景観と自然環境を次世代に受け継ぐことを目的とした、「名勝・国定公園帝釈峡記念事業実行委員会」が、11月29日に設立されました。

実行委員会は、庄原市、神石高原町、観光団体、住民自治組織など計10団体により構成され、設立総会では、設立の趣旨や規約、活動方針などが承認されました。

また、続いて行われた実行委員会では、令和4年度の事業計画と収支予算について可決されました。

今後は、具体的な事業内容について協議を行い、記念イベントの開催や景観保全活動などに取り組みます。

市民生活課
いちばんづくり課

ローカル線の可能性を探る

ローカル線の未来を考えるシンポジウム



パネルディスカッションの様子

11月27日、西城町のウイル西城で、JR芸備線・木次線をつながる庄原市・新見市・奥出雲町が連携し、「ローカル線の未来を考えるシンポジウム」を開催しました。

基調講演では、新潟県のえちごトキめき鉄道代表取締役社長の鳥塚亮さんが「ローカル鉄道は地域活性化の切り札となる」と題して、地域資源の活用の可能性や、外部から人を呼び込む仕掛けづくりの重要性について話しました。

その後、パネルディスカッションが行われ、各市町の代表者が利用促進に関する取り組み事例を発表したほか、鉄道を生かした地域振興について意見交換を行いました。

また、屋外では各市町の特産品である和牛肉の食べ比べ「和牛サミット」も同時開催し、多くの来場者でにぎわいました。

市は今後も、芸備線・木次線を生かした地域活性化と利用促進に取り組みでいきます。

高齢者
福祉課

体操の普及啓発のために

シルバーリハビリ体操 専門職向け研修会

11月22日、桜花の郷ラフォーレ庄原でシルバーリハビリ体操研修会を開催し、理学療法士、作業療法士、看護師、介護支援専門員など26人が参加しました。

市は、平成27年度から住民参画型の介護予防事業として、シルバーリハビリ体操を推進しており、このたび、初めての取り組みとして医療・介護・福祉の専門職を対象とした研修会を開催しました。

当日は、社会福祉法人交響の芳谷伸二さんを講師に迎え、シルバーリハビリ体操による介護予防について講演が行われました。また、シルバーリハビリ体操指導士4人が体操の実演を行い、参加者も一緒に体操を行いました。

市内の介護支援事業所に勤める田邊京子さんは「地域のサロンなどに関わることがあるので、指導士と一緒にシルバーリハビリ体操の普及啓発をしていきたい」と話しました。

市内では、現在127人の指導士が、地域のサロンやデイホームなどの集まり場で活動するほか、体操教室も開催しています。



体操の効果を解説する芳谷さん

- 詳しくは、高齢者福祉課地域包括支援センター係（☎0824・73・1165）へお問い合わせください。
- 【指導士が開催する体操教室】**
- ① 庄原地区
 - ・とき 毎月第3火曜日
 - ・ところ 備後庄原駅舎
 - ② 峰田地区
 - ・とき 毎月第1木曜日
 - ・ところ 峰田自治振興センター
 - ③ 敷信地区
 - ・とき 毎月第4木曜日
 - ・ところ 敷信自治振興センター
 - ④ 西城地区
 - ・とき 毎月第3水曜日
 - ・ところ しあわせ館
 - ⑤ 東城地区
 - ・とき 毎月第1月曜日・第3水曜日
 - ・ところ 東城自治振興センター